

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
38	紀伊水道西	見能林地区海岸	—	国土（水管理）	阿南市	600	④那賀川ゾーン	利用促進

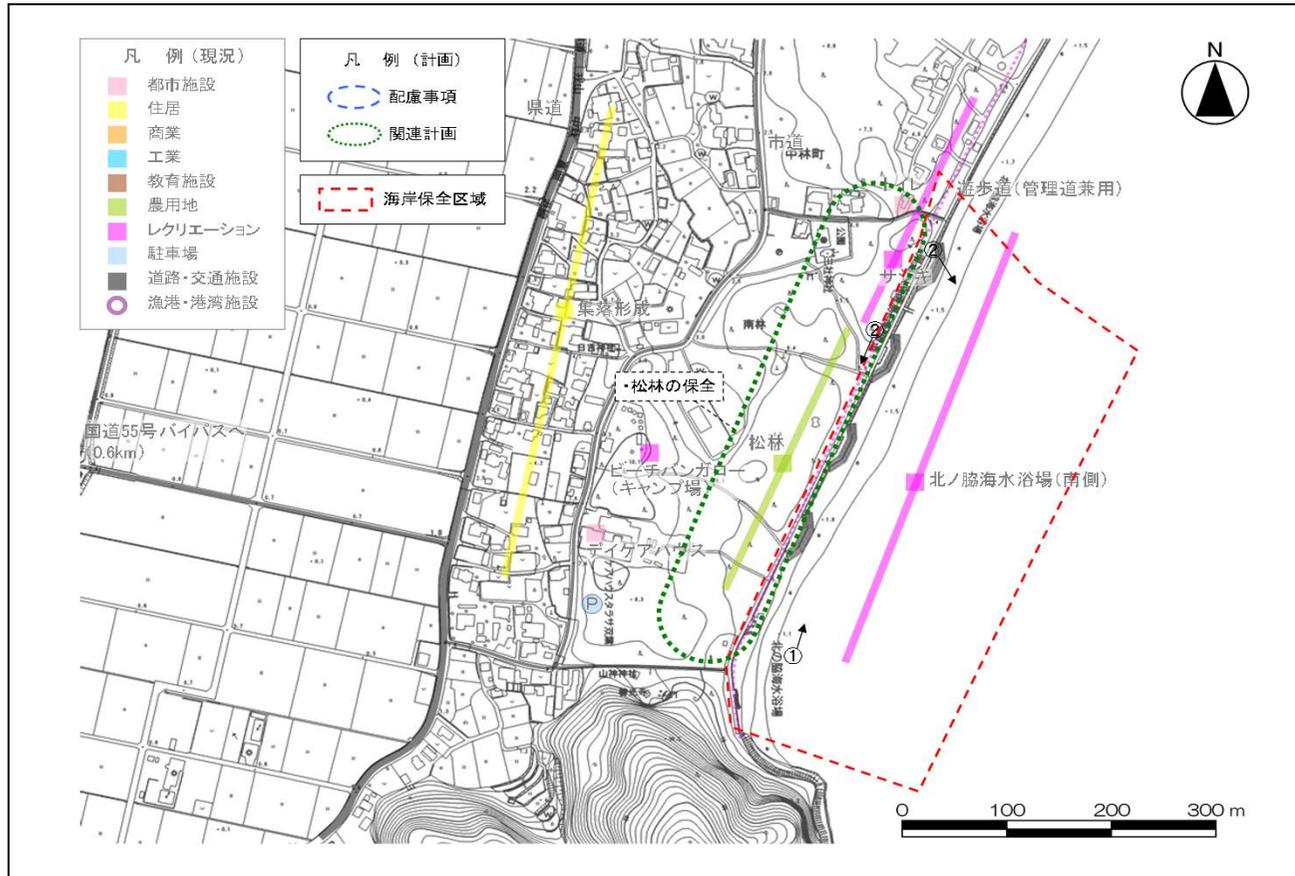
①海岸状況



②背後地状況



③海岸状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、海岸利用を促進するための施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	北の脇海岸の砂浜、背後の松林が一体となった良好な自然環境の保全に努めるとともに、ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	海水浴等の海岸利用が盛んであり、現状利用の促進に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	C	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	C
背後地ランク	C	既存保全施設	護岸・堤防、海水浴場		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	北の脇海水浴場として中林漁港海岸と連続している。砂浜に面して護岸・プロムナードが整備されている。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜・護岸		
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種）				
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—		
海域環境	藻場	—	干潟	—	サンゴ
配慮すべき資源	自然関係法令、自然景観				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	促進	幹線道路からの距離	2km以内		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり				
海岸利用状況	海水浴、ビーチバレー				
地域からの要請	海水浴場の機能強化、松林の保全				

計画概要	
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	— 導入事業 —
配慮事項	—

No.	海岸名			所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
39-1	紀伊水道西	大潟漁港海岸	柏地区	農水(水産)	阿南市	370	⑤橋湾ゾーン	環境調和

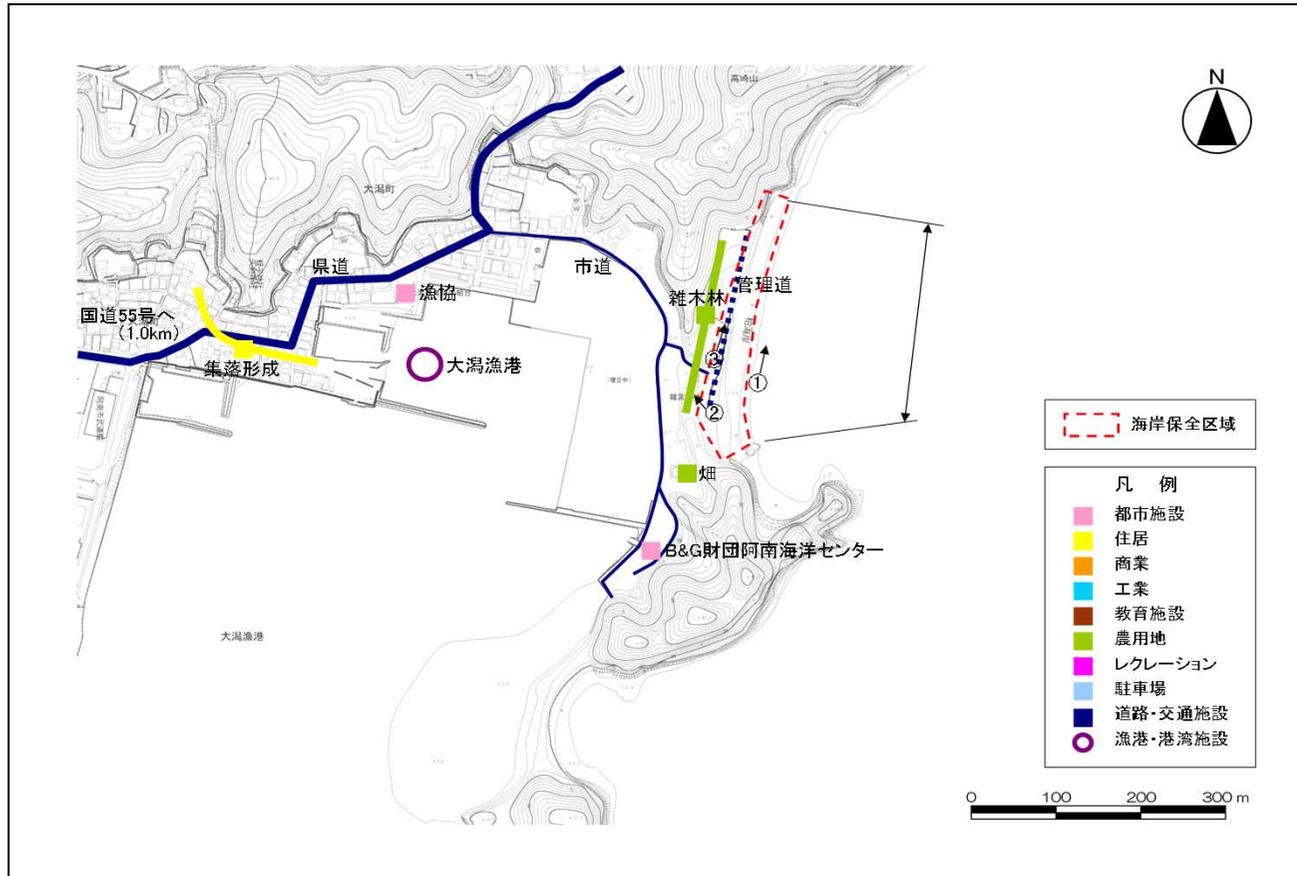
①海岸状況



②背後地状況



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での問題はないが、海岸景観や藻場の保全、親水空間の保全に配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	柏の陸けい砂州、自然海岸、生物の生息環境として重要な藻場、橋湾の優れた景観資源(多島海)の保護・保全に努める。
利用面	水遊び等の可能な親水性のある海辺空間への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	C	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	-	
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防・礫			
施設の健全度	若干の劣化・風化が見られる。					
海岸保全区域の概況	背後は雑木林で、前面は玉石主体の砂浜である。前面は草木で覆われている。護岸は老朽化しているが、機能的に問題はないと考えられる。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜・護岸			
自然関係法令	国定公園(海上:普通)、国定公園(陸上:第2種)					
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	-			
海域環境	藻場	●	干潟	-	サンゴ	-
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場、自然景観					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	2km以内			
アクセス道路	1車線					
海岸へのアプローチ	改良の必要性あり					
海岸利用状況	水遊び					
地域からの要請	-					

計画概要	
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	- 導入事業 -
配慮事項	-

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
39-2	紀伊水道西 大潟漁港海岸	柏大手地区	農水（水産） 阿南市	140	⑤橋湾ゾーン	環境調和

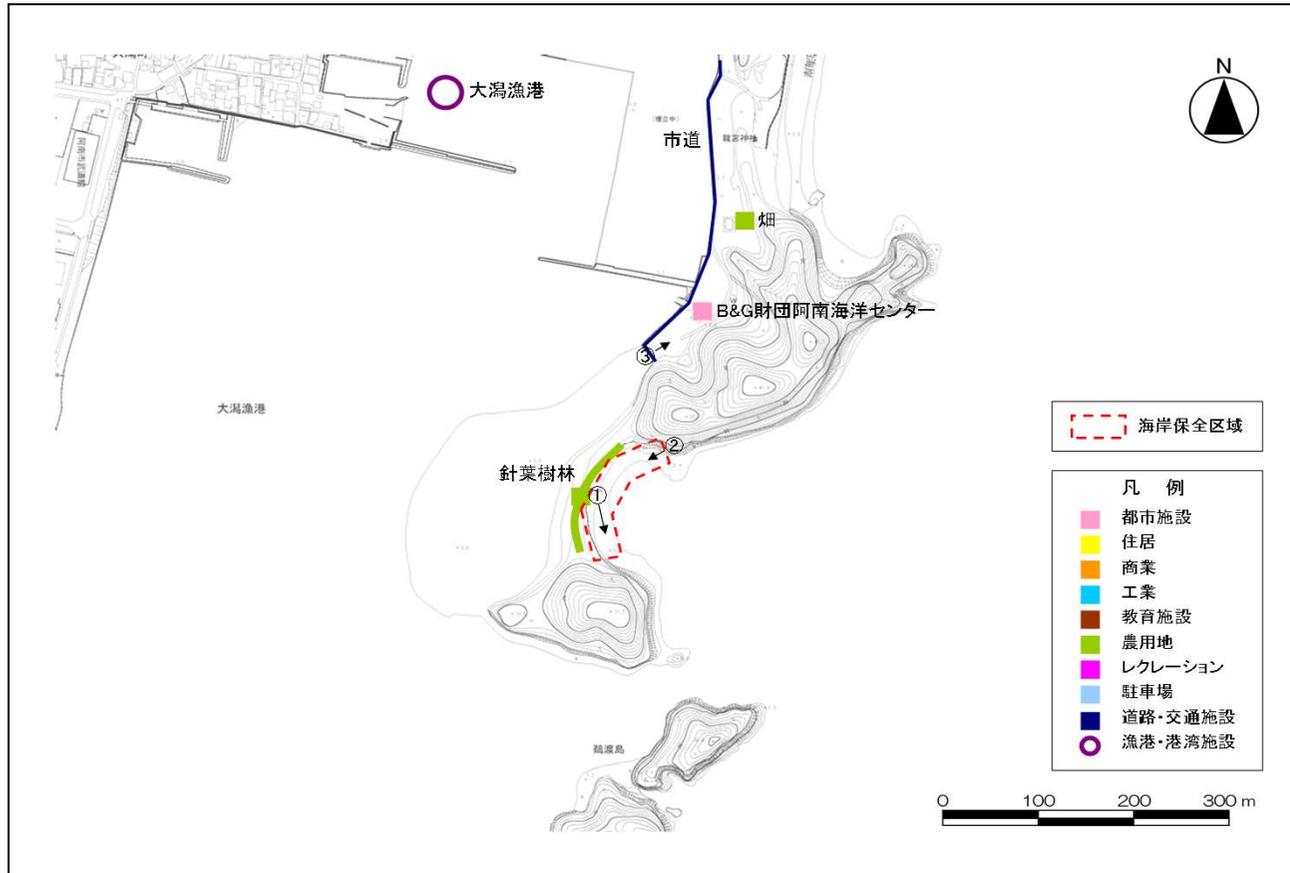
①海岸状況



②護岸状況



③背後状況



海岸整備の方向性	
全体	施設の補修が必要であるが、良好な環境を有しており、環境面に配慮しつつ現状を維持していく。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	柏の陸けい砂州、自然海岸、生物の生息環境として重要な藻場、橋湾の優れた景観資源（多島海）の保護・保全に努める。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。（利用面での環境は良好であるがアクセスが困難である。）

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	—	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	C	
背後地ランク	D	既存保全施設	0			
施設の健全度	若干の劣化が見られる。					
海岸保全区域の概況	立ち入り不能					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	—			
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種）					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—			
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場、自然景観					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	2km以内			
アクセス道路	車でのアクセス困難					
海岸へのアプローチ	困難					
海岸利用状況	なし					
地域からの要請	—					

計画概要	
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	— 導入事業 —
配慮事項	—

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
39-3	紀伊水道西	大潟漁港海岸	大潟地区	農水（水産）	阿南市	1775	⑤橋湾ゾーン	環境調和

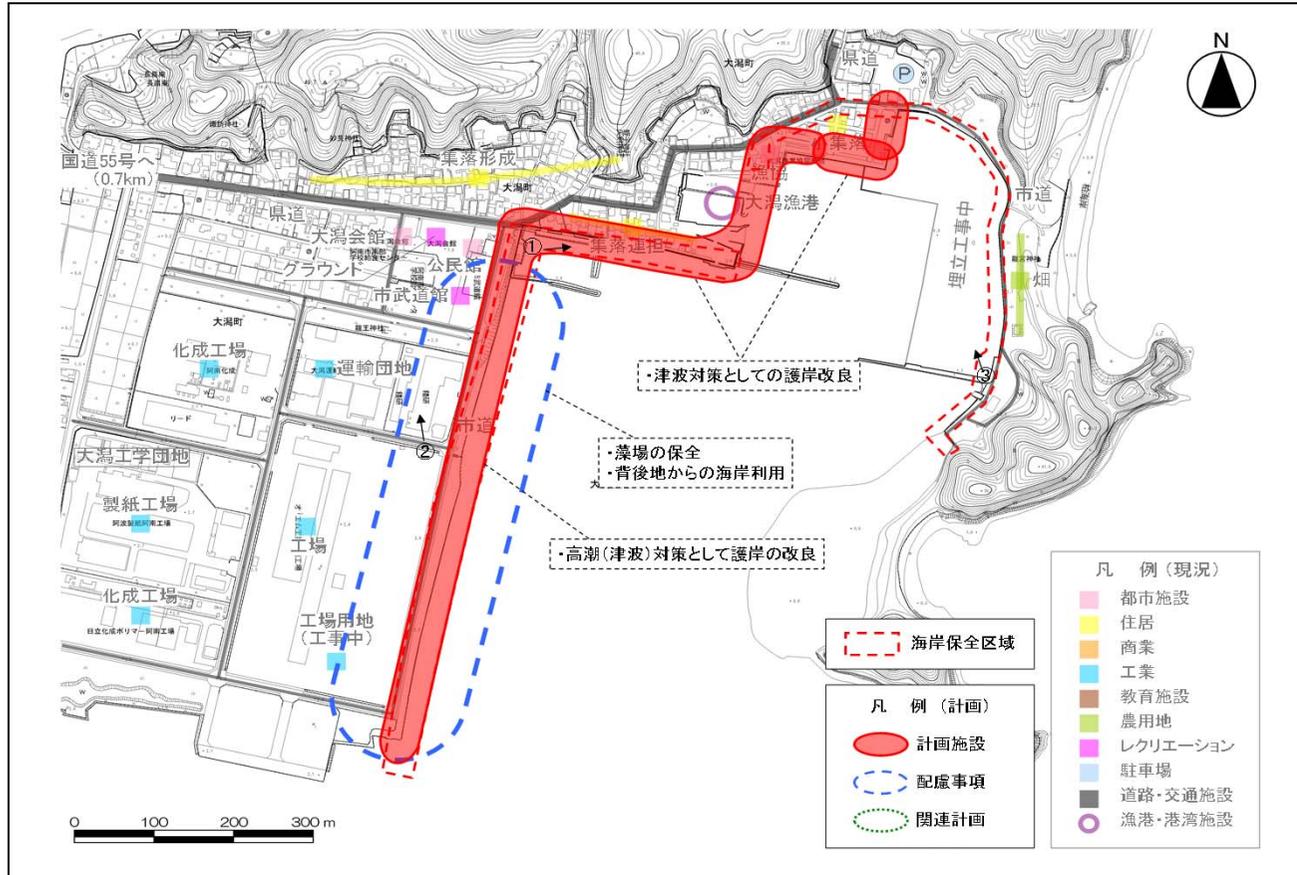
①海岸状況



②背後地状況



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。藻場や干潟の保全、漁港等の現状利用に配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波や高潮による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場・干潟の保全に努める。海域の閉鎖性が特に強いいため、水質保全の観点から海水交換を妨げることのないように留意する。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	A	侵食対策ランク	-	
背後地ランク	B	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	一部風化・劣化が顕著に見られる。					
海岸保全区域の概況	前面を埋立工事中であり、矢板が打ち込まれている。前面はヘドロが堆積している。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	護岸			
自然関係法令	-					
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	-			
海域環境	藻場	●	干潟	●	サンゴ	-
配慮すべき資源	藻場、干潟					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	2km以内			
アクセス道路	1車線					
海岸へのアプローチ	困難					
海岸利用状況	漁港					
地域からの要請	護岸改良					

計画概要			
計画概要	津波・高潮対策として護岸の改良等を行う。		
受益規模	約20ha	導入事業	津波・高潮、高潮
配慮事項	藻場の保全、背後地からの海岸利用		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
40-1	紀伊水道西	橋港海岸	橋東地区	国土(港湾)	阿南市	6487	⑤橋湾ゾーン	環境調和

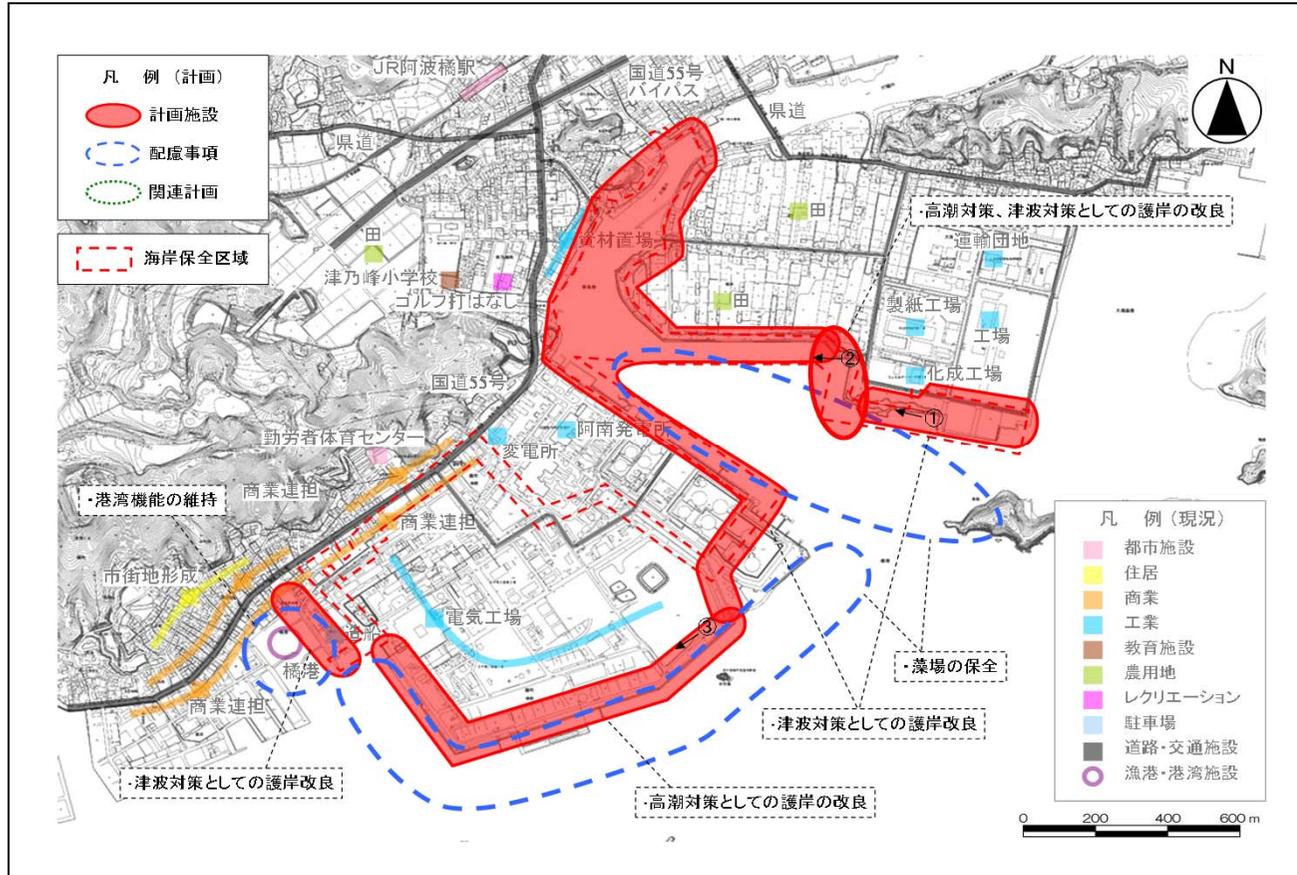
①護岸状況



②護岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。藻場の保全に配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波や高潮による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	B	侵食対策ランク	-
背後地ランク	A	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	一部風化・劣化が顕著に見られる。				
海岸保全区域の概況	重力式の護岸であり、老朽化から一部に大きなクラックが見られる。背後は空地および工場である。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	護岸		
自然関係法令	-				
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	-		
海域環境	藻場	●	干潟	-	サンゴ
配慮すべき資源	藻場、自然景観				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	500m以内		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	困難				
海岸利用状況	なし				
地域からの要請	-				

計画概要		
計画概要	津波・高潮対策として護岸の改良等を行う。	
受益規模	約80ha	導入事業
配慮事項	藻場の保全、港湾機能の維持	

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
40-2	紀伊水道西	橘港海岸	橘西地区	国土(港湾)	阿南市	1481	⑤橘湾ゾーン	防護重視

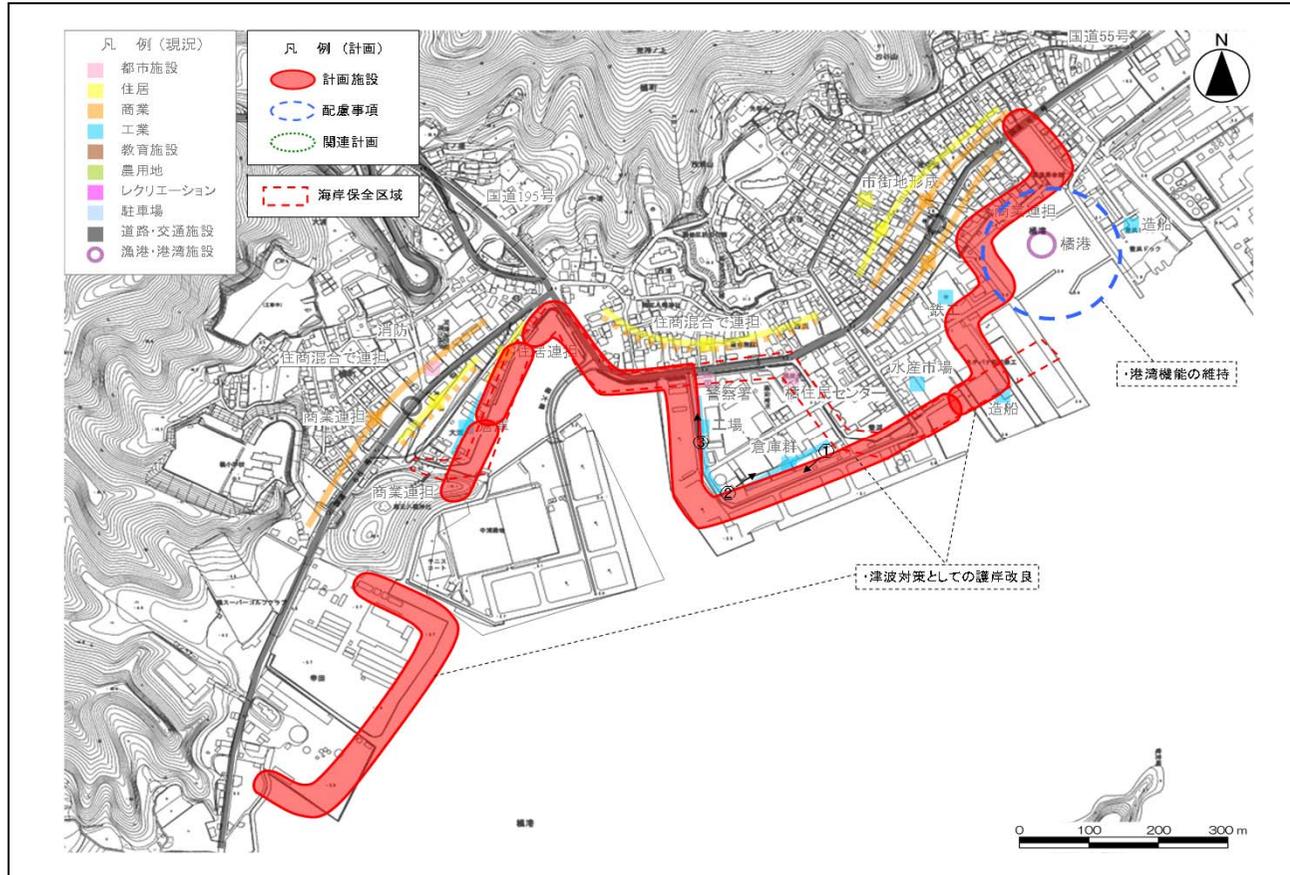
①護岸状況



②護岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。自然環境の保全に配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	特質的な配慮事項はなく、現況の自然環境の維持に努める。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	A	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	一部風化・劣化が見られる。					
海岸保全区域の概況	前面は漁港の物揚場として利用されている。背後は漁業集落でありかなりの人家が密集している。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	維持	海岸の状況	護岸			
自然関係法令	—					
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	—			
海域環境	藻場	—	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	—					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	隣接			
アクセス道路	2車線					
海岸へのアプローチ	困難					
海岸利用状況	なし					
地域からの要請	防護ラインの変更、避難場所への案内板					

計画概要			
計画概要	津波・高潮対策として護岸の改良等を行う。		
受益規模	約30ha	導入事業	津波・高潮、高潮
配慮事項	港湾機能の維持		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
40-3	紀伊水道西	橋港海岸	鶴地区	国土(港湾)	阿南市	1920	⑤橋湾ゾーン	環境調和

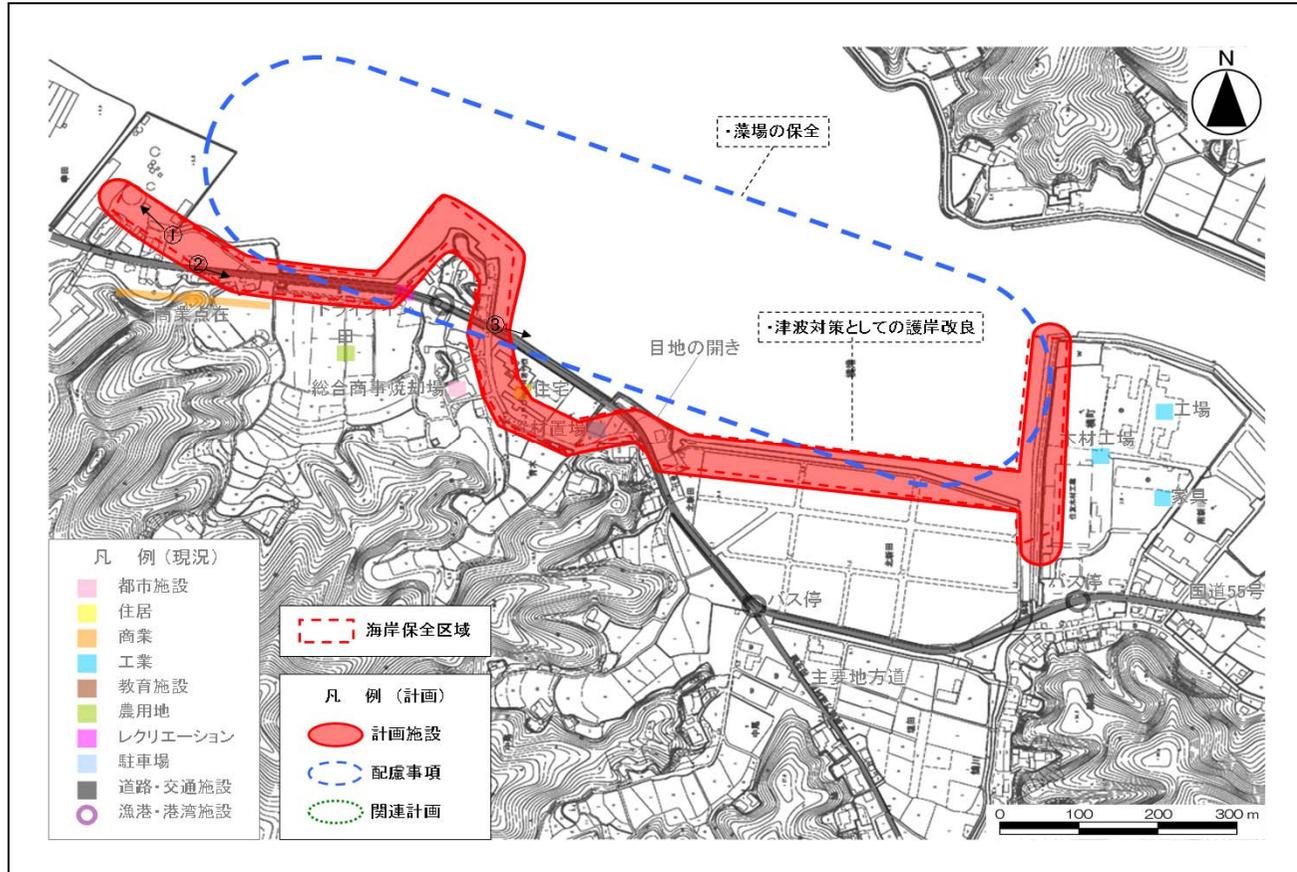
①護岸状況



②護岸状況



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。藻場の保全に配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努める。また、海域の閉鎖性が特に強いので、水質保全の観点から海水交換を妨げることのないように留意する。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	-
背後地ランク	B	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	若干の劣化・風化が見られる。				
海岸保全区域の概況	護岸天端は嵩上げ施工がされている。背後のエプロンの目地が大きく開いており、沈下が見られる所もある。嵩上げ前の部分の風化が見られる。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	護岸		
自然関係法令	-				
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	-		
海域環境	藻場	●	干潟	-	サンゴ
配慮すべき資源	藻場				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	2km以内		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	困難				
海岸利用状況	なし				
地域からの要請	-				

計画概要		
計画概要	津波・高潮対策として護岸の改良等を行う。	
受益規模	約40ha	導入事業
配慮事項	藻場の保全	津波・高潮、高潮

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
40-4	紀伊水道西	橋港海岸	袴傍示西地区	国土(港湾)	阿南市	1728	⑤橋湾ゾーン	環境調和

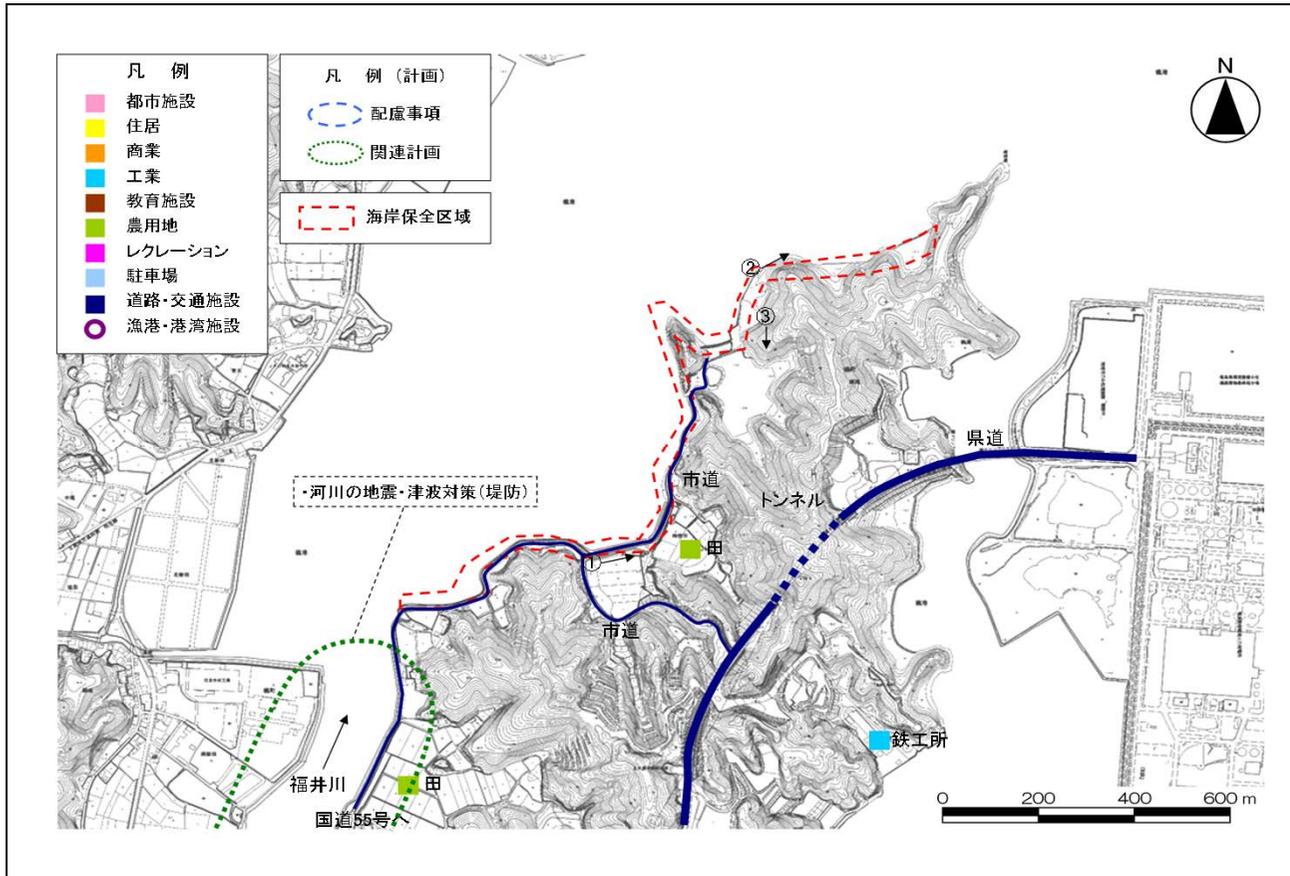
①護岸状況(改修済み)



②護岸状況(未改修)



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、藻場の保全に配慮した施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努める。また、海域の閉鎖性が特に強いので、水質保全の観点から海水交換を妨げることのないように留意する。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	-	
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。					
海岸保全区域の概況	昭和36年施工の古い石積およびコンクリート張護岸である。風化劣化および吸出等の現象が見られる。背後は土地開発会社の所有地である。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	護岸			
自然関係法令	-					
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	-			
海域環境	藻場	●	干潟	-	サンゴ	-
配慮すべき資源	藻場					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	500m以内			
アクセス道路	1車線					
海岸へのアプローチ	困難					
海岸利用状況	なし					
地域からの要請	-					

計画概要			
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。		
受益規模	-	導入事業	-
配慮事項	-		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
40-5	紀伊水道西 橋港海岸	橋傍示東地区	阿南市	1439	⑤橋湾ゾーン	環境調和

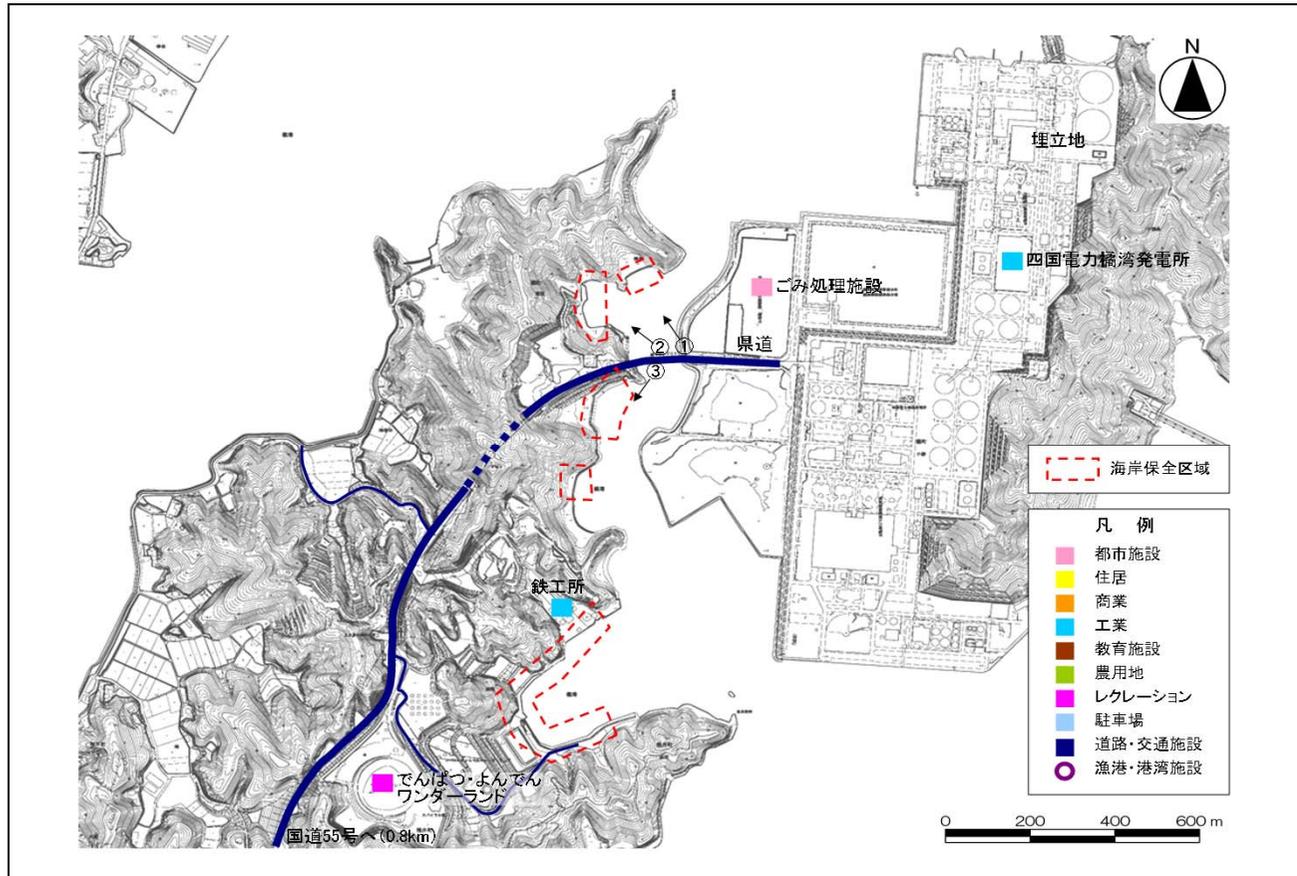
①海岸状況



②海岸状況



③海岸状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、藻場の保全に配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努める。また、海域の閉鎖性が特に強い為、水質保全の観点から海水交換を妨げることのないように留意する。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	一部風化・劣化が見られる。					
海岸保全区域の概況	火力発電所の対岸に位置する護岸である。背後は雑木林や広場であり非常に静穏な水域となっている。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	護岸			
自然関係法令	—					
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	—			
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	藻場					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	2km以内			
アクセス道路	車でのアクセス困難					
海岸へのアプローチ	困難					
海岸利用状況	なし					
地域からの要請	—					

計画概要			
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。		
受益規模	—	導入事業	—
配慮事項	—		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
40-6	紀伊水道西	橋港海岸	樺地区	国土(港湾)	阿南市	1230	⑤橋湾ゾーン	環境調和

①海岸状況



②海岸状況



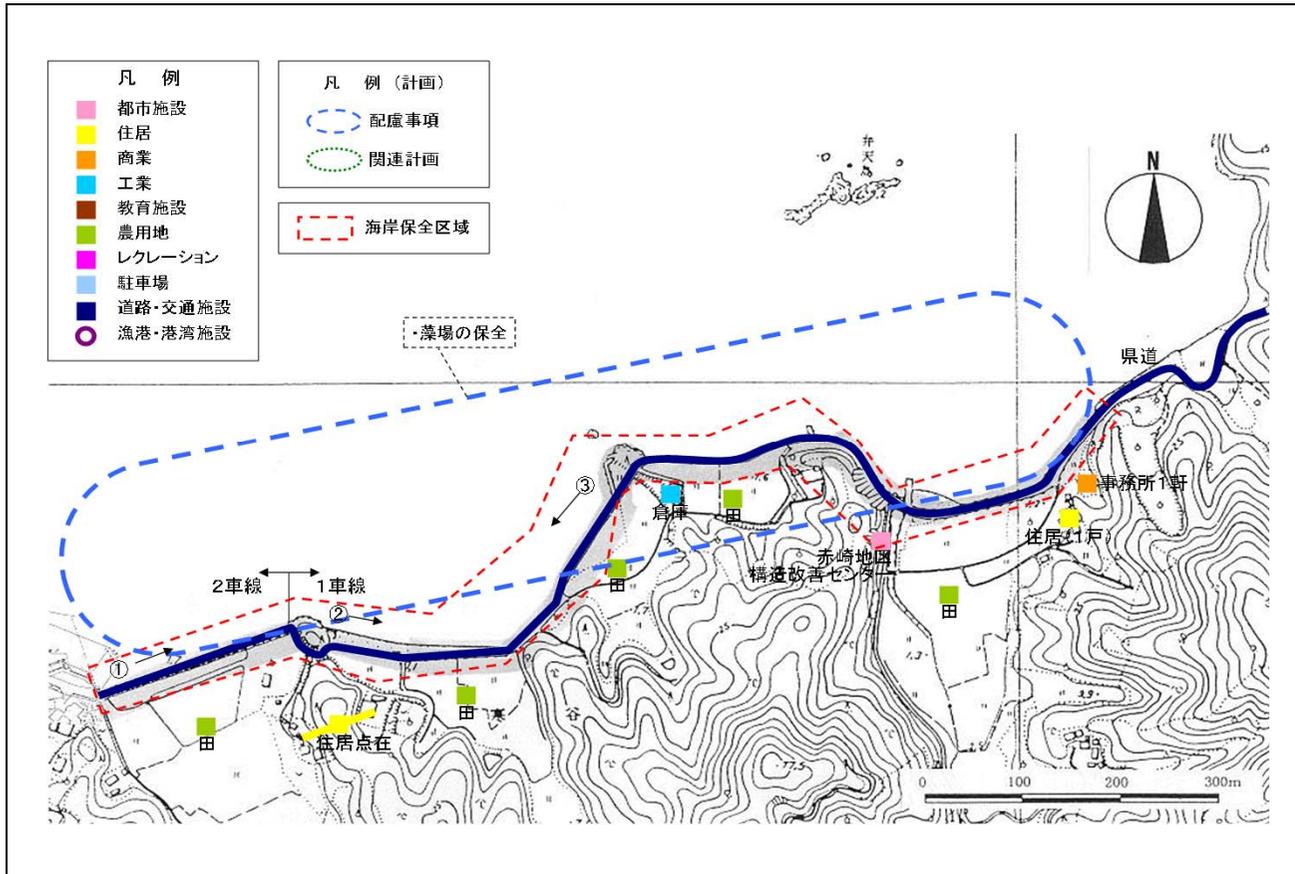
③海岸状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要性を考慮して、当面、藻場の保全に配慮した施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努める。また、海域の閉鎖性が特に強い為、水質保全の観点から海水交換を妨げることのないように留意する。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	-
背後地ランク	C	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	旧護岸の前面に新しい護岸が整備されている。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	護岸		
自然関係法令	国定公園(海上:普通)				
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	-		
海域環境	藻場	●	干潟	-	サンゴ
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	2km以内		
アクセス道路	2車線				
海岸へのアプローチ	困難				
海岸利用状況	なし				
地域からの要請	-				

計画概要	
計画概要	長期的に事業に着手する。当面、定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	- 導入事業 -
配慮事項	藻場の保全



- | 凡例 | 凡例(計画) |
|----------|--------|
| 都市施設 | 配慮事項 |
| 住居 | 関連計画 |
| 商業 | 海岸保全区域 |
| 工業 | |
| 教育施設 | |
| 農用地 | |
| レクリエーション | |
| 駐車場 | |
| 道路・交通施設 | |
| 漁港・港湾施設 | |

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
40-7	紀伊水道西	橋港海岸	高島地区	国土(港湾)	阿南市	414	⑤橋湾ゾーン	環境調和

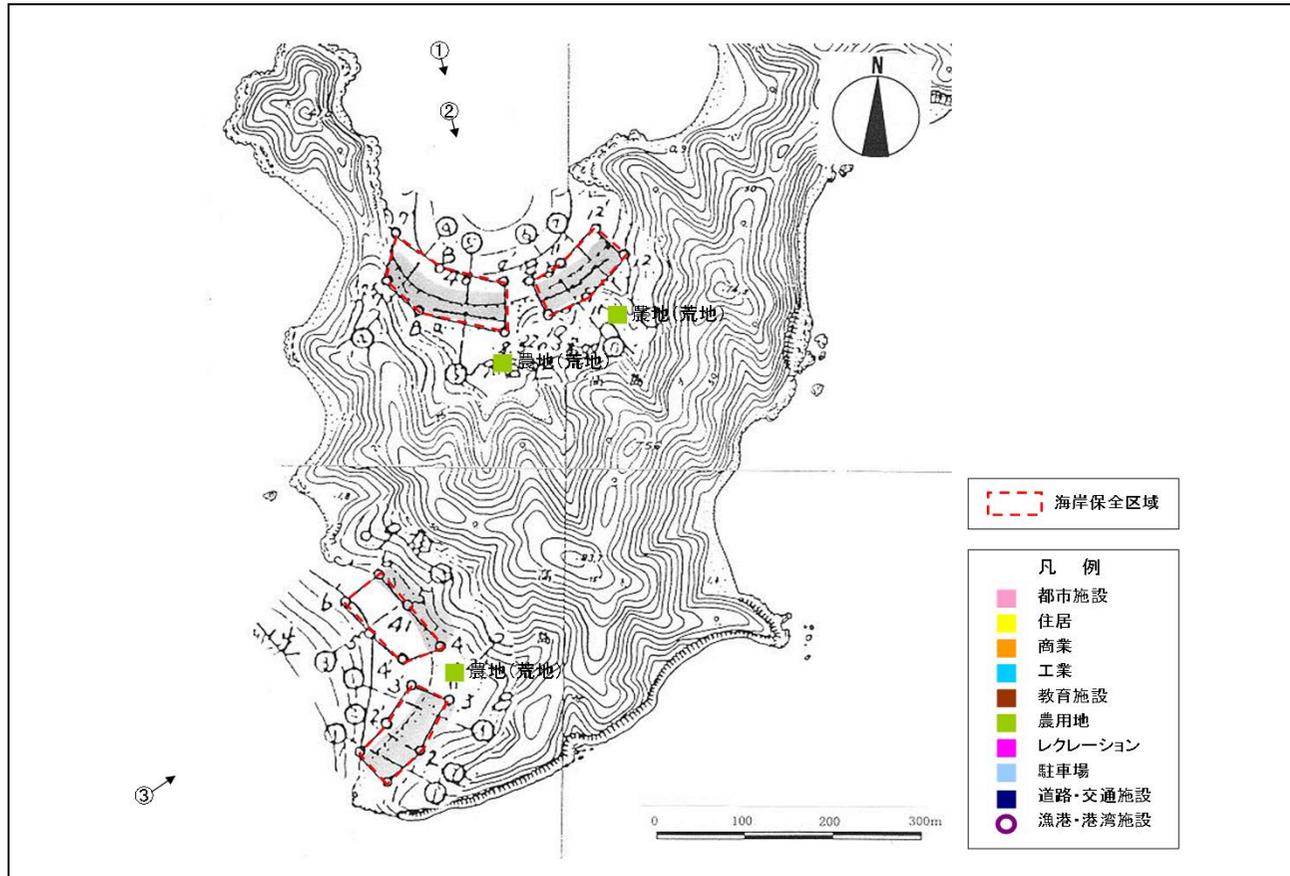
①海岸状況(全景)



②海岸状況



③海岸状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での問題はないが、自然景観や藻場の保全に配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場や自然景観の保全に努める。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	-
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	立入不能。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	ブロック		
自然関係法令	国定公園(海上:普通)、国定公園(陸上:第2種)				
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	-		
海域環境	藻場	●	干潟	-	サンゴ
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場、自然景観				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	2km以内		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	困難				
海岸利用状況	なし				
地域からの要請	-				

計画概要	
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	- 導入事業 -
配慮事項	-

No.	海岸名			所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
40-8	紀伊水道西	橋港海岸	香地区	国土(港湾)	阿南市	820	⑤橋湾ゾーン	環境調和

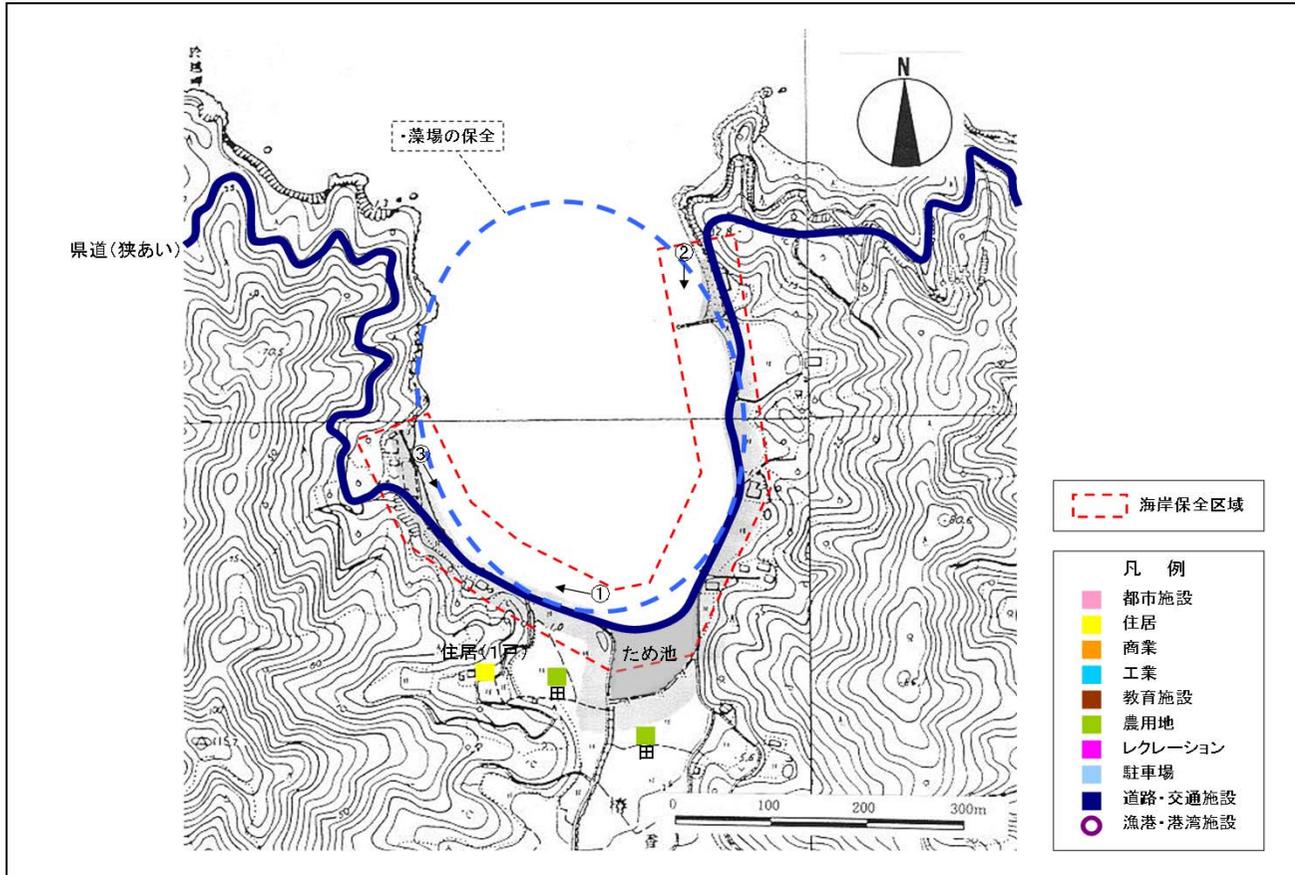
①護岸状況



②護岸状況



③護岸背後状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、藻場や干潟の保全に配慮した施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場や干潟の保全に努める。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。					
海岸保全区域の概況	全保全区間にて50cm程度の、天端の嵩上げが施工されている。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	護岸			
自然関係法令	国定公園(海上:普通)、国定公園(陸上:第2種)					
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	—			
海域環境	藻場	●	干潟	●	サンゴ	—
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場、干潟、自然景観					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	2km以内			
アクセス道路	1車線					
海岸へのアプローチ	困難					
海岸利用状況	なし					
地域からの要請	—					

計画概要	
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	— 導入事業 —
配慮事項	—

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ	
40-9	紀伊水道西	橋港海岸	楠ヶ浦地区	国土(港湾)	阿南市	⑤橋湾ゾーン	環境調和

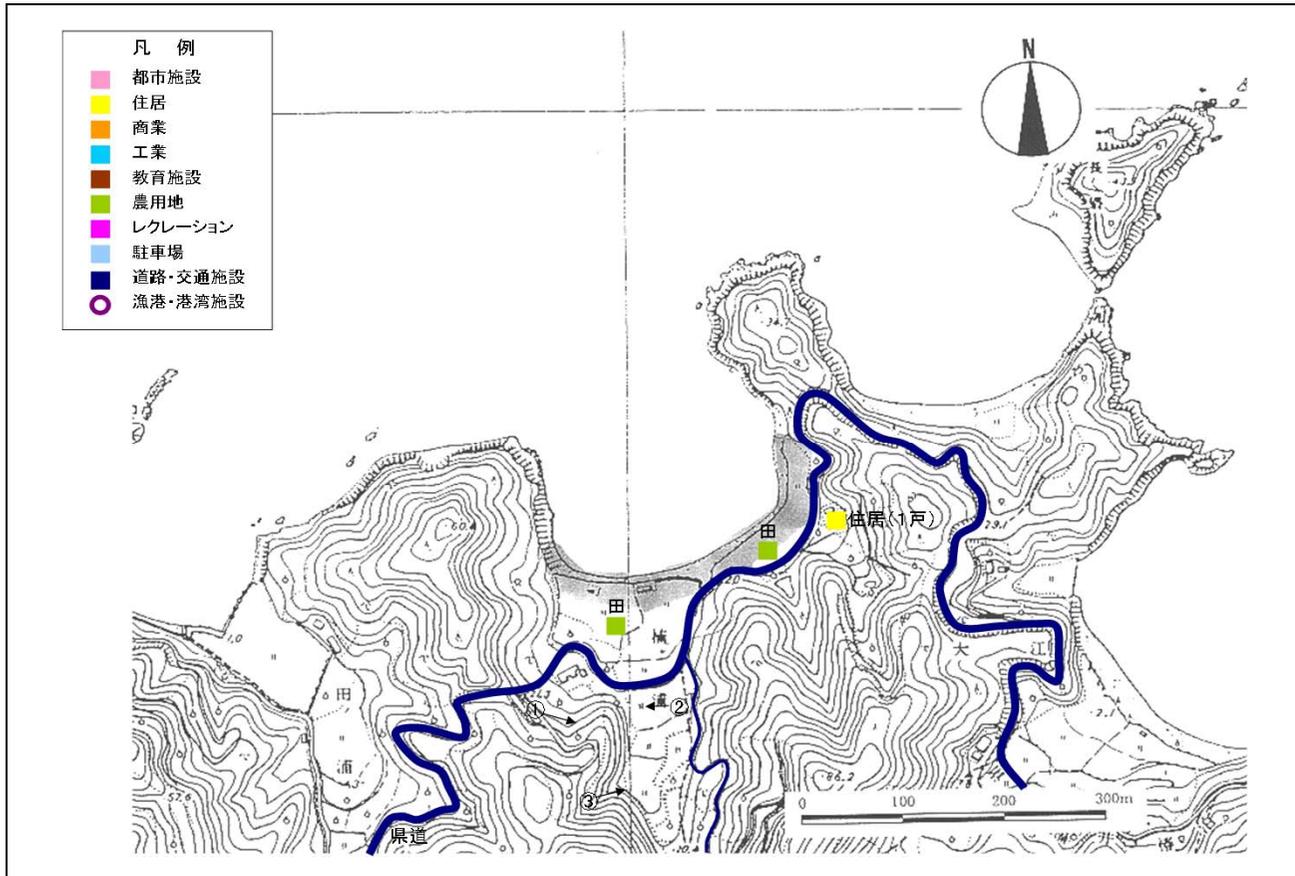
①護岸状況



②海岸状況



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、海岸景観の保全に配慮した施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	B	侵食対策ランク	—
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	若干の劣化・風化が見られる。				
海岸保全区域の概況	古い石積の護岸であるが、機能的に問題はないと考えられる。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	磯・護岸		
自然関係法令	国定公園(海上:普通)、国定公園(陸上:第2種)				
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	—		
海域環境	藻場	—	干潟	—	サンゴ
配慮すべき資源	自然関係法令				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	2km以内		
アクセス道路	車でのアクセス困難				
海岸へのアプローチ	困難				
海岸利用状況	なし				
地域からの要請	—				

計画概要	
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	— 導入事業 —
配慮事項	—

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
41-1	紀伊水道西	後戸漁港海岸	浜田地区	農水（水産）	阿南市	520	⑤橋湾ゾーン	環境調和

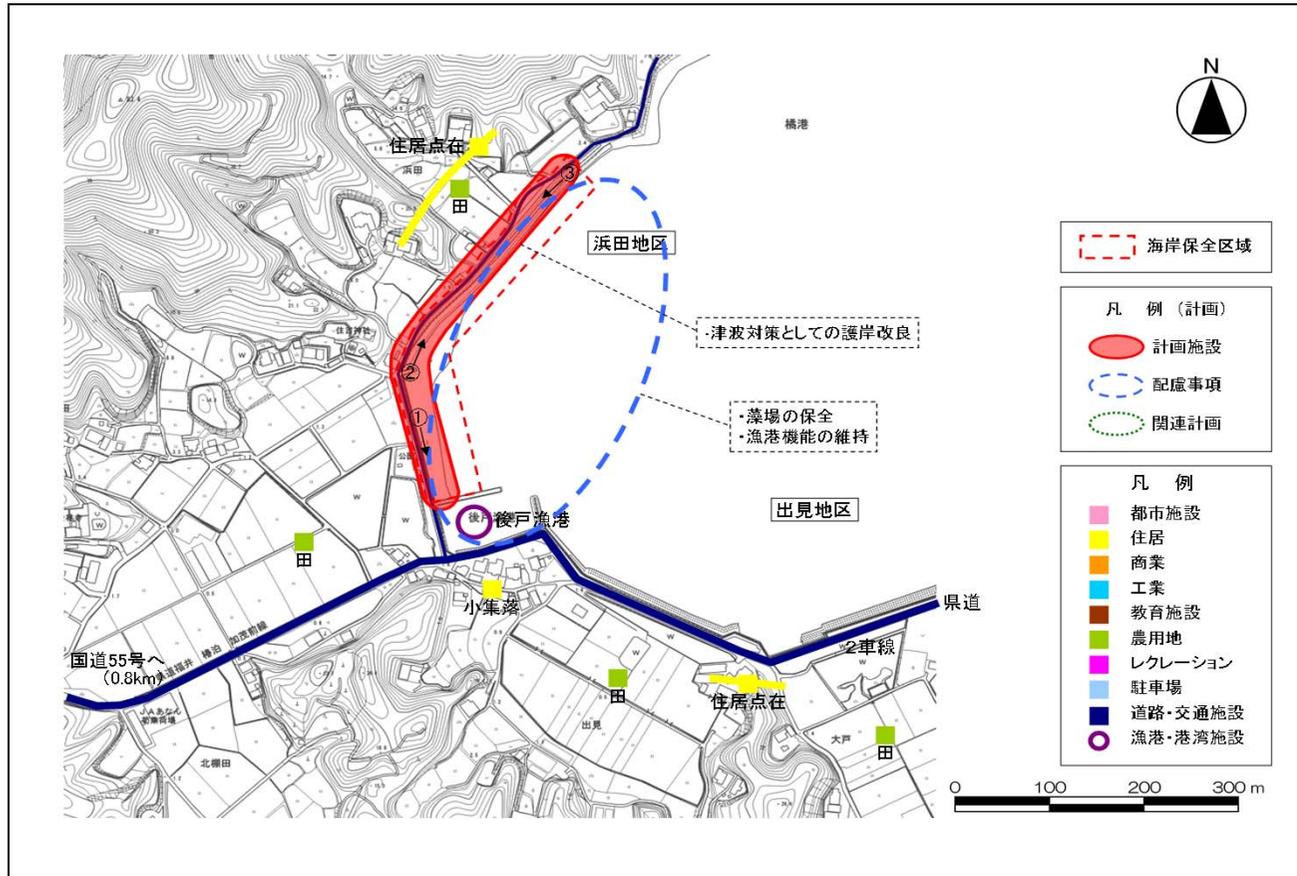
①護岸状況



②護岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。藻場の保全や漁港等の現状利用に配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努める。また、海域の閉鎖性が特に強いので、水質保全の観点から海水交換を妨げることのないように留意する。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	-	
背後地ランク	B	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。					
海岸保全区域の概況	平成10年に護岸天端の嵩上げ施工および根固工が施工されている。背後には人家及び市道が通っている。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	護岸			
自然関係法令	-					
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	-			
海域環境	藻場	●	干潟	-	サンゴ	-
配慮すべき資源	藻場					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	500m以内			
アクセス道路	2車線					
海岸へのアプローチ	困難					
海岸利用状況	漁港					
地域からの要請	-					

計画概要			
計画概要	津波・高潮対策として護岸の改良等を行う。		
受益規模	約20ha	導入事業	津波・高潮、高潮
配慮事項	藻場の保全、漁港機能の維持		

